

# ハーモニーを奏でる楽器づくり

撮影/鈴木亜希子 取材・文/佐々木ハシチウオヴィッチ申子



紙袋でつくった帽子をかぶり、手作り楽器でファミリーコンサート!!

今年のGWは、手づくり楽器でファミリーコンサートを計画中。そこでロバの音楽座の松本雅隆さんに、楽器の作り方、音を出す楽しさについて、お話を伺いました。

「人間は本来いろんな音を感じ取る力があり、みんな体の中にそれぞれ音楽を持っています。ただ、日常生活ではどこかでそれを押さえつけられていて、出せないことがあります。自由に楽器を作り、演奏することでその力を引き出してみませんか。

楽器を作るのに、最初から難しいものを作るうとしないこと。日常使っているもの、自然の中にあるものを組み合わせれば何でも楽器になります。ドレミや既成の楽器にとらわれないで、自由な柔らかな発想で作ってみてください。そうすれば偶然出た音からも「あれ、こんな音が!」と新たな発見もあるでしょう。

手作り楽器のポイントは、なるべく素材の音を生かすようにすること。紙や木や石など自然な音の組み合わせが手作り楽器の最大の魅力です。世界中の楽器をみても、身の回りの素材がうまく生かされています。空き缶、牛乳パック……危うくゴミに

なるものも立派な楽器になるんです。それから楽器作りでは、見た目もとても大切です。ただ音を出す、というだけではなく、色を塗ったり、あれこれ形を工夫していくうちに「世界にひとつ」という喜びを感じることでしよう。何より早く音を出したいという気持ちになりますね。

楽器ができたら演奏です。ひとつメロディが出る楽器を作れば、それに合わせて好きにリズムをつけていきます。何となく出した音の組み合わせで、自然に音楽ができていきます。音で家族が会話をし、ひとり一人が音で落書きをするような気持ちで楽しんでください。演奏する人が楽しんでむことが大切です。家族で演奏する良さは、それぞれ得意なものを、規則にとらわれないこと、自由に楽しめること、ということでしょう。

楽器という難しいイメージがありますが、本来、音楽はみんなの体の中にあるものですから、お勉強でなく楽しみながら楽器とつきあってみてほしいですね。ファミリーコンサートでは、そんな音楽の原点、そして家族で力を合わせて作った素敵な音楽をぜひ披露してください。」

## ロバハウスって?

玉川上水の横にあるキノコのようなちよつと変わった形の建物のロバハウス。ここでは、中世・ルネッサンスの楽器を演奏する「カテリーナ古楽合奏団」、古楽器と空想楽器で創作音楽を演奏する「ロバの音楽座」の本拠地です。月に1度のライブには、たくさんの親子連れが愉快的な音に耳を傾け、忘れかけていた古楽器の温もりを感じます。

ロバハウス ☎042-536-7266  
http://www.mmjp.or.jp/ROBAHOUSE/

## <ロバの音楽座 CD情報>

●「トーナドーナ」  
RCK102 3,000円(税込価格)  
「ガランピーポロン」「ジグ・空想の船」に続く、ロバワールドの第3弾。ロバの音楽座によるファンタジックな音と遊びの世界。古楽器や身の回りの素材を使った空想楽器が織りなすロバサウンドは子ども達の想像の羽を大きく広がります。全18曲

## <ロバの音楽座 公演情報>

●ロバハウスライブ  
「ロバの音楽座コンサート」  
4月29日(祝) 10:30~、13:30~  
大人・子ども2,500円  
◎ロバハウス ☎042-536-7266

●「愉快的コンサート」  
青山こどもの城  
5月4日(日) 11:00~、13:30~、15:30~  
入館料:大人500円 子ども400円(当日配布する入場整理券が必要)  
◎こどもの城 ☎03-3797-5666

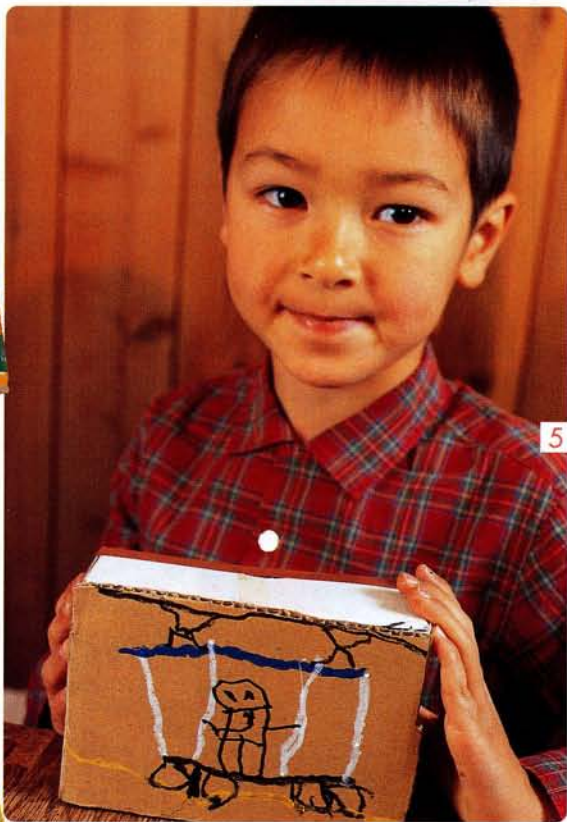
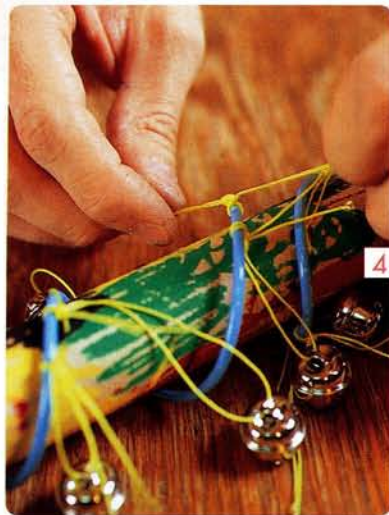
●音のワークショップ&ミニコンサート  
「ロバの音楽座と音さがし」  
品川区六行会ホール  
7月26日(土) 13:00~  
大人4,000円 子ども3,000円  
対象:5歳以上~大人  
◎ロバハウス ☎042-536-7266



身近なものから世界にひとつしかない  
オリジナル楽器を!

# ロバの足

鈴に糸を通し、ワイヤーに結びつけてぶら下げる。  
\*鈴をワイヤーにつけるのに、ビニタイを利用しても良い。



箱の中に米を入れ、中身が出ないように、テープでとめる。  
箱と同じぐらいの大きさに切った厚紙に、絵を描き、箱に貼る。  
それを紙管の先端につけ、固定させる。  
\*紙管の下端に、布を巻き付けると、振動が少なくなり、柔らかい音になります。

## 演奏の Point



えんぴつなどでカンや箱をたたいたり、紙管全体を床にコンコン叩きつけたりすることで、リズムをとることができます。紙管を横に振ると、箱の中の米がマラカスのような音を出し、鈴の揺れる音も出ます。ひとつの楽器でいろんな音が楽しめるので、音の組み合わせを楽しみながら演奏するといいです。



### …材料…

- 空き缶:2個
- 紙管(体の大きさに合わせて切ったもの)1本
- 色テープ:1本
- ゲルマーカー(マジック、クレヨンなどでも良い)数色
- デザインカラーワイヤー
- 鈴(約10個)
- 厚紙:1枚
- 紙箱:1個
- 米:適量



紙管にゲルマーカーなどで色を塗る。



空き缶を底が上になるようにして、①の紙管に色テープで固定する。



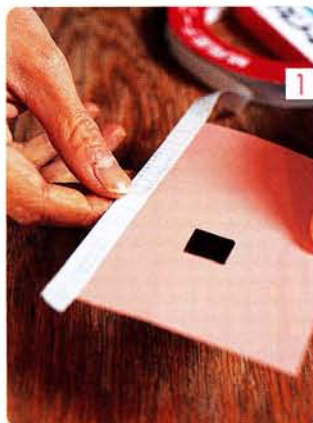
デザインカラーワイヤーを紙管の周りに巻き付ける。

# ブーブー



…材料…

- 色工作用紙:数枚
- スーパーの袋:1枚
- セロテープ
- 両面テープ
- カッター
- はさみ
- 牛乳パック



1 色工作用紙を丸めてみて、曲がりやすい方を横として、縦12センチ横8センチに切る。長い辺の端から約3.5cmのところ、短い辺の真ん中に1.5センチ四方の正方形を書き、カッターで切り抜いて窓を作る。長い辺の端に両面テープを貼り、丸めて筒を作る。2 スーパーの袋を①で開けた窓よりも少し大きめの正方形に切り、窓のところに両面テープで貼る。3 貼ったら、筒の端に口を付け、声を出しながら吹いてみる。ビニールの部分を指で少し押さえ、ビニールをたるませながら、声の振動の伝わり具合を調節する。\*ここできた、音のもととなる笛を「カズー」と言います。4 牛乳パックに色を塗る。色工作用紙を切り、ラッパのような形のを2つ作る。5 牛乳パックにラッパ型のを差し込む丸い穴を2か所開け、そこにラッパを差し込む。③で作ったカズーを牛乳パックの口の部分に固定する。\*ラッパに模様を描いたり、牛乳パックに飾りを貼り付けたりするともっと楽しくなります。

## 演奏の Point



カズーをつい笛のように吹いてしまいたくなりますが、声を出さないと音が出ないので、ただ息を吹きかけるだけでなく、声も一緒に出すのがポイント。声の高さを変えることで、メロディーがつくれるので、声の強弱や高さも楽しむことができます。

# ブンパカパッパ



…材料…

- 両面テープ
- 色テープ
- 色工作用紙/数枚
- はさみ
- 紙管(30cm位の長さに切ったもの)
- \*紙管はクッキングペーパーなどの芯を使っても良い。



1 紙管よりも約5センチ短く、紙管の周りに少し余裕をもって巻けるぐらいの大きさに色工作用紙を切る。それを丸めて両面テープでとめ、筒を作る。\*この場合、紙管にできた筒を重ねたとき、筒がきつすぎず、ゆるすぎず、難なくスライドできるぐらいに巻く。2 紙管の口の部分より少し大きめの円形を色工作用紙に描き、切る。3 真ん中に1円玉ぐらいの大きさの穴をあけ、ドーナツ型にする。4 紙管の口のところに両面テープまたは木工用のボンドを付け、②のドーナツ型の紙を貼る。そのとき、ドーナツ型の紙の方が紙管の口よりも大きくなるが、その方が吹きやすい。5 口の部分が③で作った筒の口に合うような、ラッパ型のを色工作用紙で作る。それを色テープで④の筒の先に固定する。紙管を筒の中に入れ、トロンボーンのようなものを作る。

## 演奏の Point



トランペットを吹くような感じで、唇をつぼめ、唇に少し力を入れて息を強く吹き出すようにして音を出します。吹きながら紙管をスライドさせるとまるでトロンボーンを吹いているように見えます。





ロバハウスの



楽器たち

